— 世界へ未来へ —
Peace Constitution League
Since 1995.8.15
No.350
9条連ニュース

2024年4月20日　毎月1回 20日発行 1997年4月14日第3種郵便物認可

主な記事

巻頭言　浅野 健一 …… 1
住みついて9年沖縄の現在を伝えたい　大西 章 …2,3
能登半島地震が残した教訓と
　新たな知見（上）　吉村 秀實 ……4,5
3.20 さよなら原発全国集会 …… 6
読者のたより …… 6
政治展望台㊺ …… 7
本の紹介、平和川柳 …… 8

代表　浅井基文／浅野健一／植野妙実子／C・ダグラス・ラミス／常岡せつ子
中山弘正／樋口陽一／山家悠紀夫／藤野美都子

〒141-0031 東京都品川区西五反田3－2－13
目黒さつきビル303号
TEL 03－5747－9994
FAX 03－5747－9919

ホームページはこちらから

https://9joren.net/　E-mail:9joren@ams.odn.ne.jp　創刊号1995年1月20日発行　定価100円　年間購読料1,500円（郵送料含む）郵便振替口座 00160-2-96579「9条連」

日本共産党は22年7月の参院選で、「『力』による現状変更を迫る中国や北朝鮮の軍事挑発など〝きな臭い〟動きで、国民が不安を募らせているのは事実」とし、「急迫不正の主権侵害が起こった場合は、あらゆる手段を用いて私たちはこれを排除する。自衛隊も含めてやっていく」（しんぶん赤旗日曜版）と宣伝した。革新政党が自公政権とマスコミの刷り込みに同調し、〝国防意識〟を高めるのに、日本国憲法の非武装中立主義を支持する私はゾッとした。

立憲民主党の幹部も「我々も防衛力の強化には賛成だ」と述べ、テレビのコメンテーターも「米韓日連携は重要」と口を揃える。米欧のアジアにおける軍事的脅威、日本の軍事化は批判されない。

私は3月21日、国立競技場で行われたサッカーW杯アジア2次予選の日朝戦を取材した。この試合後、26日に平壌で開催予定だった第2戦の中止情報が流れた。朝鮮は日本で劇症型溶血性レンサ球菌感染症の感染者が増えていることを問題視して自国開催を取り止めた。国際サッカー連盟（FIFA）は3月30日、「試合は0－3で朝鮮側の敗戦として没収する」と決めた。

タレントの関口宏氏は3月31日、TBS系「サンデーモーニング」で、

【サッカー日朝戦を取材した筆者、3月21日国立競技場で】

「日本にとっては結果的によかったが、北朝鮮ってなんでこういうことするのかね」と質問。ジャーナリストの青木理（おさむ）氏（元共同通信ソウル記者）は「どうなんだろうか。ただ、日本に対して政治的メッセージを送って来ているので、そういうのが背景にあるのか。でも、よく分からない」と笑って答えた。関口氏は「自国へ呼んで負けたらとんでもないことになるからか。そんなことまで考えてないやね」と朝鮮の姿勢に疑問を呈した。36年半、番組の司会を務めた関口氏はこの日がラスト出演だったが、朝鮮に対し偏見に満ちた発言だった。

関口氏とTBSは、中朝両国が徹底的に嫌いのようだ。視聴者の中に百万単位の在日朝鮮人・中国人がいることを忘却している。FIFAなどは「北朝鮮」と絶対に呼ばない。競技場でのアナウンスでも「朝鮮民主主義人民共和国、選手の交代です」と言う。森保一監督も「DPRコリア」と表現する。青木氏らが「北」「北朝鮮」と呼ぶのが間違っている。

私は2月28日、女子代表の日朝戦も取材した。月刊「紙の爆弾」5月号に詳しく書いたが、両試合はともに好ゲームだった。試合後、日本代表が応援席の前に来た時、勝利を称え敬意を表していた。

岸田文雄首相は「金正恩（キムジョンウン）朝鮮労働党総書記との会談が重要で、私直轄のハイレベルで協議を進める」と明言しており、政府には、平壌での13年ぶりの日朝戦で政府高官ら約30人を随行させて日朝会談の糸口を見出そうとする動きがあった。総書記の妹である金与正（キムヨジョン）朝鮮労働党副部長も日本側から接触があったと表明していた。第二戦の中止は残念だ。

中朝が日本を攻撃してくることはない。米国が中朝に侵略戦争を仕掛けた場合だけ、日本は標的になる。今も続く朝鮮戦争を終結させ、日朝国交正常化を実現し、日韓両国から米軍を撤退させ、日米安保条約を日米平和条約に変えることが、最も現実的な防衛政策である。

あさの・けんいち／
元同志社大学大学院メディア学専攻教授